

## 「京の生きもの生息調査」の実施について

### 1 概要

市民参加による広域的な調査を実施することにより、市内の広域的な自然環境の現況を把握するとともに、調査を通じて身近な地域の自然や生きものへの関心を高めてもらうことを目的として、「京の生きもの生息調査」を実施する。

今年度は、市内で見られるツバメ、ハグロトンボ、カワセミの生息状況を市民に報告してもらうことにより、これらの生息状況を把握し、それを基に本市の緑や水辺の豊かさ等の自然環境の現状を評価する。

なお、調査の実施に当たっては、より調査に参加してもらいやすくするため、調査対象である生きものを見つけ方や見分け方、生態等を分かりやすく記載した「調査手引書」を作成する。

### 2 調査対象

- ・ ツバメ（周辺に緑地環境があることを示す） ※ ①②④⑥
- ・ ハグロトンボ（周辺に水辺・緑地環境があることを示す） ※ ①②③④⑥
- ・ カワセミ（周辺に良好な水辺環境があることを示す） ※ ①②③④

※ 調査対象種の設定方針

（環境省（平成19年度）「市民参加型自然環境調査手引書（素案）」から引用）

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| ① 親しみのある種            | ④ その地域に生息する種 |
| ② 見つけやすく、判別（同定）しやすい種 | ⑤ 調査対象種数の限定  |
| ③ 環境指標性の高い種          | ⑥ 四季を捕捉できる種  |

### 3 実施期間

令和元年7月17日（水）～11月30日（土）

### 4 調査方法

#### (1) 調査内容

調査対象種について、以下の事項を報告してもらう。

- ・ 発見した日時
- ・ 発見した場所
- ・ その他（生きもの数や場所の特徴、様子など）

※ ツバメ（巣）の場合は、ツバメの種類（ツバメ、コシアカツバメ、イワツバメ、ヒメアマツバメ）や巣を作っていた建物（民家、マンション・ビル、学校、商店・飲食店、橋、その他）についても、分かる範囲で報告してもらう。

## (2) 報告方法

### ア 「京・生きものミュージアム」から報告

生物多様性総合情報サイト「京・生きものミュージアム」内の「京の生きもの生息調査」の報告フォームに必要事項を記載して報告する。(写真を添付することができるが、写真がなくても報告可)

### イ インスタグラムから報告

インスタグラムフォトコンテスト (5(2)「インスタグラムフォトコンテストの開催」参照) に投稿することで、本調査への報告に替えることができる。

### ウ 調査報告票(紙)で報告

「京・生きものミュージアム」内又は調査手引書の裏面に掲載の「調査報告票」に必要事項を記入のうえ、当課に郵送又は FAX で送付し、報告する。

## 5 参加者を増やすための工夫

### (1) 調査に関する広報

チラシ及びポスターを作成し、本市関係施設(各区エコまちステーション、京エコロジーセンター、自然体験学習の施設等)等に配布する。

また、フェイスブック及びインスタグラムにおける SNS 広告を実施する。

### (2) インスタグラムフォトコンテストの開催

市内で発見されたツバメ、ハグロトンボ、カワセミの写真を対象とした、インスタグラムフォトコンテストを同時開催する。

実施に当たっては、参加者が気軽に投稿できるように、投稿方法や報告状況等を分かりやすく掲載したフォトコンテスト特設ページを開設する。

また、本コンテストの受賞者に、京都市動物園や京都水族館、府立植物園の年間パスポート等をプレゼントすることで、参加意欲を高める。

### (3) 生物多様性保全活動団体等への協力依頼

中学校、高校の理科部やボーイスカウト、環境保全活動に取り組む地域、生物多様性保全活動団体等に調査への参加を呼び掛ける。